

# 資材ニュース

## — Material News —

資材委員会

委員長	西山 勉	委員	佐藤友生
副委員長	嶋田 雅景		島瀬 直美
	富井 弘之		高桑 和秀
委員	浅田 雅之		田中 幹男
	井上 淳二		舩岡 直幸
	遠藤 智巳		森川 直紀
	岡崎 圭二		山口 裕幸
	香川 立人		湯川 修
	柿本 仁		吉岡 一
	金倉 正三		吉田 康一
	黒川 裕文		

(令和3年5月28日現在)

### ■工事中電線の市場動向

#### <4月の国内事情>

日銀は4月に公表した「経済・物価情勢の展望レポート」において、2020年度の実質国内総生産（GDP）の見通しについては、マイナス4.9%と前回1月公表値（マイナス5.6%）から上方修正とした。2021年度についてはプラス4.0%とし、2021年1月公表値のプラス3.9%からわずかに上方修正し、2022年度についてもプラス2.4%、前回1月公表値（プラス1.8%）からの上方修正とした。さらに2023年度については、プラス1.3%と見込んでいる。いずれも内外需要の強まりを主因とし上方修正されている。

一方、2020年度消費者物価指数（CPI）の見通しについては、マイナス0.4%と前回1月公表値（マイナス0.5%）からわずかに上方修正とした。2021年度については、感染症や携帯電話通信料の引き下げの影響などをうけて、一時的に物価の下押し要因として作用するため、小幅なマイナスで推移するとみている。2022年度はプラス0.8%とし、前回公表値（プラス0.7%）からわずかに上方修正し、2023年度はプラス1.0%と見込んでいる。2022年度以降については、携帯電話通信料引き下げの影響が一巡し、感染症の影響もワクチンの普及などにより徐々に収束していくと想定したため。

ただし、こうした先行きの見通しについては、感染症の帰趨や内外経済に与える影響によって変わり得るため、不透明感は強い。

#### <銅事情>

4月の銅相場は大幅上昇。8,700ドル台でスタートした後、米景気回復期待や、チリで新型コロナウイルスの感染

が再拡大し、国境が閉鎖されたことで供給懸念が広がり、休場明け6日に、200ドル超上昇。9,000ドルを挟んで動いたが、中旬、米株式が最高値を更新する中、複数の投資銀行が銅相場に対して強気の見方を示すと、9,400ドル台に上昇。さらに終盤は、チリの供給懸念やLME在庫の減少、ドル安、中国の好調な需要、FRBのコロナウイルス対策の金融支援継続方針等、上げ材料が重なり、約10年ぶりに10,000ドルの大台まで上昇した。4月末のLME銅相場は9,949ドル、4月平均のLME銅相場は9,336ドルとなった。

4月のLME銅在庫量は、1日の14万トン台から増加傾向であったが、13日の17万トン台をピークに減少に転じ、4月末のLME銅在庫量は、月初在庫量を割り込む、137,000トンとなった。

4月の国内銅建値は、3月末から1万円下げの102万円/トンでスタートし、7日にプラス2万円の104万円/トン、12日にマイナス1万円の103万円/トン、16日にプラス3万円の106万円/トン、21日にマイナス1万円の105万円/トン、26日にプラス3万円の108万円/トンとなり、4月平均の銅建値は、104.5万円/トンだった。

直近6カ月の平均銅建値は、2020年 11月：77.6万円/トン 12月：84.8万円/トン 2021年 1月：87.0万円/トン 2月：91.8万円/トン 3月：102.2万円/トン 4月：104.5万円/トン。

2021年5月の国内銅建値は、4月末から10万円上げの118万円/トンでスタート。

#### <電線市況>

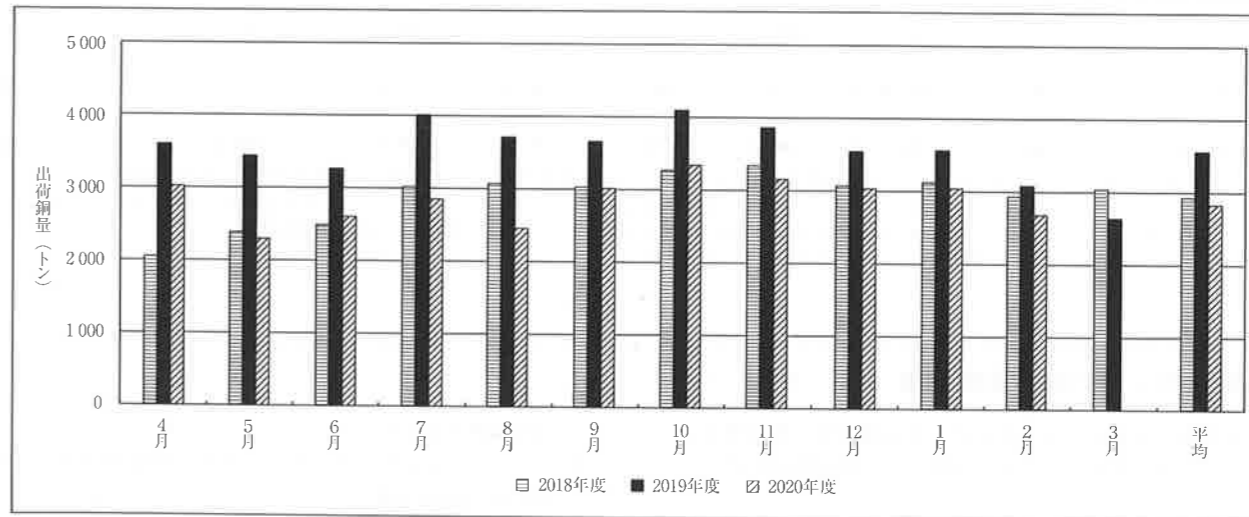
（一社）日本電線工業会は2021年3月の銅電線出荷銅量の速報値をまとめ、対前年同月比0.9%増、前月比13.8%増の5万9,300トンと発表した。

需要部門別には、建設電販部門2万6,400トン（前年同月比2.3%減、前月比9.8%増）、電機部門12,900トン（前年同月比12.1%増、前月比11.3%増）、自動車部門8,800トン（前年同月比11.0%増、前月比15.5%増）、電力部門4,600トン（前年同月比18.1%減、前月比20.9%増）、輸出部門1,500トン（前年同月比4.2%減、前月比24.0%増）、通信部門800トン（前年同月比6.7%減、前月比8.5%増）、その他内需部門4,300トン（前年同月比0.2%減、前月比39.7%増）となった。

エコ電線・ケーブル出荷推移, グラフ

'18年度					'19年度					'20年度				
電力用	通信用	機器用	合計	銅量ベース (単位: トン)	電力用	通信用	機器用	合計	電力用	通信用	機器用	合計		
4月	2,033	62	4	2,099	4月	3,534	86	4	3,624	4月	3,006	61	4	3,071
5月	2,256	56	5	2,317	5月	3,335	84	4	3,423	5月	2,235	53	6	2,294
6月	2,470	69	8	2,547	6月	3,120	84	5	3,209	6月	2,597	65	4	2,667
7月	2,905	86	10	3,001	7月	3,969	99	6	4,074	7月	2,787	65	4	2,856
8月	2,992	83	8	3,083	8月	3,621	84	5	3,710	8月	2,427	63	3	2,494
9月	2,931	65	6	3,002	9月	3,614	85	5	3,704	9月	3,010	65	4	3,078
10月	3,171	82	7	3,260	10月	4,108	91	7	4,206	10月	3,215	95	6	3,315
11月	3,335	76	6	3,417	11月	3,783	85	6	3,874	11月	3,092	74	5	3,171
12月	3,012	71	5	3,088	12月	3,496	71	6	3,573	12月	2,968	64	4	3,036
1月	3,033	78	7	3,118	1月	3,502	77	7	3,586	1月	2,977	60	5	3,042
2月	2,889	77	5	2,971	2月	3,087	77	4	3,168	2月	2,644	55	4	2,702
3月	2,932	76	5	3,013	3月	2,578	70	4	2,652					

(出所: 日本電線工業会)



全国出荷銅量推移, 需要部門別グラフ (全国) 2020年度/3月速報値

	全国出荷銅量推移 (月平均) (単位: トン)							
	通信	電力	電機	自動車	建設電販	その他内需	輸出	合計
15年度	938	4,963	12,478	5,851	28,174	4,038	1,822	58,264
16年度	928	4,554	12,457	6,208	26,743	4,391	1,403	56,683
17年度	860	4,178	12,436	6,850	26,806	4,388	1,726	57,244
18年度	840	4,071	12,085	7,111	27,925	4,286	1,833	58,151
19年度	867	4,142	11,183	7,541	28,508	4,233	1,392	57,866
20年度/3月速報	800	4,600	12,900	8,800	26,400	4,300	1,500	59,300
前年同月比	▲ 6.7	▲ 18.1	12.1	11.0	▲ 2.3	▲ 0.2	▲ 4.2	0.9
前月比	8.5	20.9	11.3	15.5	9.8	39.7	24.0	13.8

